◆子ども・子育て支援　研修◆

（子育て支援スタッフ研修）

全国的に先進的な取組を実践している講師等を招き、子育て支援の最新の知識とともに、幅広い領域で確かな実践力習得を目指します。

●開催時期 ：令和８年 10 月～12 月　土日祝
　　10:30～15:00　　全３回
●定　　員 ： 各回 25 名
●参 加 費 ： 各回 1,000円
●内　　容 ： 講義とグループワーク
●会　　場 ： 広島市内（予定）

申込フォーム

回	日　時	テーマ・内 容	講　師	講 師 紹 介
1	10月24日（土） 10:30～ 15:00	◆子育ての環境の変化と、今求められている「子育て支援」とは ＜内容＞ 生活様式や価値観など大きく変化した現代社会に、今、求められている『『子育て』を支援するということ」について考えます。	 大阪教育大学 健康安全教育系教育学科 教授　小崎（こざき） 恭弘（やすひろ） 氏	兵庫県西宮市初の男性保育士として施設・保育所に12年勤務。３人の男の子それぞれに育児休暇を取得。それらの体験を元に「父親の育児支援」研究を始める。父親の育児、ワークライフバランス、子育て支援、保育研修等で、全国で年間 60 本程度講演会等を行う。これまで 2000 回の公演実績を持つ。NHK すくすく子育て、視点・論点、たすけて極めびと、ビビット等出演。NPO 法人ファザーリング・ジャパン顧問。
2	11月 ８日（日） 10:30～ 15:00	◆現代社会が抱える課題と家族支援について ＜内容＞ 社会養護を含め多様化する家族を「支える」とは？様々な個別の問題について考え、これからの子ども家庭福祉について学びます。	 福山市立大学 教育学部児童教育学科 教授　野口（のぐち） 啓示（けいじ） 氏	関西学院大学、同大学院で社会福祉学を学び、ワシントン大学に2年留学。帰国後、児童養護施設に勤務。2003 年に児童養護施設の分園として、「野口ホーム」を開設し、その後児童養護施設の施設長を務める。2016 年、退職しNPO法人「GivingTree」を立ち上げ、そのタイミングで野口ホームがファミリーホームに移行。主な著書に『被虐待児の家族支援』福村出版、『社会的養護の現状と近未来』明石書店。
3	12 月19日（土） 10:30～ 15:00	◆赤ちゃんやこどもの発達ケア、作業療法的アプローチについて ＜内容＞ 多職種連携による子育て支援が進み、それぞれの視点を知る支援者を目指し、発達の専門家としての日々の実践から、「発達を支える」ことについて考えます。	 合同会社にじのわ　代表 作業療法士 森田（もりた） 綾（あや） 氏	金沢市在住。子どもの発達専門の作業療法士として19年、療育センターや病院からの通算臨床経験は 10,000人以上。自身の妊娠・出産・子育てをきっかけに赤ちゃんの発達について学び「にじのわ」を開業。発達分析のプロとして子どもと親に向き合い、発達を支える支援者もサポートする。一見わかりにくい発達の原理原則や子育ての本質についてシンプルな語り口で切り込む。2026年0歳児の気持ちがわかる子育てのヒントをまとめた「赤ちゃんのホンネ」を出版。

◆子ども・子育て支援　研修　＋plus（ぷらす）

（子育て支援リーダー研修／スキルアップ研修）

地域や社会の子育て環境の充実に向け、専門的かつ時宜的な研修を行うとともに、子育て支援活動をより円滑に進行するための技術向上を目指します。

●参 加 費 ： 各回 2,000円
●会　　場 ： 各回 広島市内（予定）

◆テーマ：「子どものからだのおかしさ」研究からみえる子どもたちの今！

日　時/申込フォーム	内　容	講　師	講 師 紹 介
7 月 11 日（土） 10:30～15:30 申込フォーム	◆講義とワーク 子どものからだ、心、生活のちょっと気になる「おかしさ」の“実感”を子どもの“からだ”にこだわって研究。科学的根拠に基づいたお話と具体的な提案から子どもたちとよりよく生きることについて考えます。	 日本体育大学 体育学部健康学科　教授 野井（のい） 真吾（しんご） 氏	1968 年東京都生まれ。日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程修了・博士（体育科学）・東京理科大学専任講師、埼玉大学准教授、日本体育大学准教授を経て現職（日本体育大学教授、2023年4月より「子どものからだ研究所」所長）子どものからだと心・連絡会議議長、教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学を専門領域として、子どもの“からだ”にこだわった研究を続けている。主著に『デジタル社会と子どもたち』（かもがわ出版）、『花ひらけ子ども時代』（かもがわ出版）、『子どもの“からだと心”クライシス』（かもがわ出版）、『子どものからだと心白書』（ブックハウス・エイチディ）などがある。

◆テーマ：子育て支援者のためのファシリテーション基礎講座

日　時/申込フォーム	内　容	講　師	講 師 紹 介
令和９年 ２月６日（土）・７日（日） ※2 日間連続講座 10:00～16:00 申込フォーム	◆講義と演習 子どもや子育て家庭を支える支援の場で必要な「一緒に考え、支えあう場」をつくるためのスキルとマインドについて、講義とワーク、そしてお互いから学び合います。	 有限会社タイキなくらし ファシリテーション事業部 鈴木（すずき） まり子（まりこ）　氏	静岡県浜松市在住。NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー・災害復興委員会メンバー。子どもの頃、ボランティア活動を通してワークショップと出会う。人事労務コンサルタント会社を経て独立。現在は、地域、NPO、行政、学校、医療介護、企業など多様な分野で、ひとりひとりが「尊重され存在できる」参加型の場づくりを目指して会議やワークショップを進行。また、その手法と考え方「ファシリテーション」を伝える研修を企画・全国で実施している。 共著『ファシリテーション～実践から学ぶスキルとこころ』（岩波書店） 共著『ソーシャル・ファシリテーション：「ともに社会をつくる関係」を育む技法』（北樹出版）

【申込方法】
○ご希望の研修会欄にある申込フォームからお申し込みください。定員となり次第、受付を締め切ります。

＜キャンセルについて＞　当日のキャンセルについては、キャンセル料（50％）を請求します。